

学力向上研究指定校事業第2回連絡協議会・報告資料

平成28年度の取組の概要

学 校 名	大衡村立大衡小学校	主な取組教科	算数科	
研 究 主 題	「学ぶ楽しさ・分かる喜びを感じながら学習に取り組む児童の育成」 —「ふりかえり」を大切にした算数科の授業づくりを通して—		研究年次	1 / 3年次

1 今年度の主な学力向上の取組と成果

学力向上の取組	成 果	評価の根拠
視点1…問題提示や課題設定のための取組	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を活用することで、児童が問題場面を把握しやすくなった。 問題をしっかりと把握させることで、児童が自ら課題を見つけられるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の表情、取組の様子、研究授業事後検討会、教師の反省 児童の発言や取組の様子、ノート、研究授業事後検討会、教師の反省
視点2…自力解決を促すための取組	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、自分の言葉で問題の解き方などを表現することに慣れてきた。 ICT 機器を活用したヒント提示などにより、解決に至ることが多くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の表情、発言、ノート、教師の反省 児童の表情、取組の様子、ノート、評価問題の結果
視点3…学習内容を定着させるための取組	<ul style="list-style-type: none"> 適用問題等の時間を確保することで、学習内容の定着が進んだ。 児童が、課題に対するまとめや感想などを書くことに慣れてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の取組の様子、ノート、スキルや評価問題の結果 児童の取組の様子、ノート、研究授業事後検討会、教師の反省
研究を支える取組…教材・教具・ICT の活用、家庭学習の習慣化、既習事項の定着、ノート指導、小中連携など	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導についての教師の共通理解を図ったことにより、児童がノートを上手に使えるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童のノート、研究授業事後検討会、教師の反省

2 残された課題と今後の方向性

課題	改善の方向性
視点2…なかなか解決できずにいる児童への支援のあり方。	<ul style="list-style-type: none"> その場やねらいに応じた学習形態の工夫をしていく。 個々の児童の見取りと、個に応じた支援の工夫をしていく。
視点3…適用問題、評価問題、活用問題への取組、児童による課題に対するまとめ、学習感想などの重視と限りある時間との関連。	<ul style="list-style-type: none"> ねらいに即した学習内容の精選と、学習過程の工夫をしていく。